

診療科目：整形外科

カテゴリー：選択科目

一般目標：整形外科医としてのみならず一般臨床医としての基本的な、脊椎・脊髄・運動器に対する診療に必要な知識、技能、態度を身に付ける。災害外傷、交通外傷などの緊急を要する疾患患者の初期治療に関する臨床的能力を身に付ける。高齢化社会に対応した脊椎・脊髄疾患、四肢の運動器障害疾患患者の診療に関する臨床的能力を身に付ける。リハビリテーション及び社会復帰、日常生活への復帰、Quality of Life に対する理解を深める。

【個別目標】

- ・入院時に問診、身体所見を指導医とともにとり、検査計画をたてる。
- ・病棟における回診、診察、治療を指導医とともに行う。
- ・手術計画をたて、術前カンファレンスで、発表・討論を行う。
- ・手術に助手として入る。
- ・術後の管理を行う。
- ・術後カンファレンスで、発表・討論を行う。

【指導原則・方法】

1. 病棟で、指導医とともに数人の患者を受け持つ。
2. 週2回外来に出て、新患の問診を行う。その後、指導医の診察につき、外来患者の診断、治療、処置を学ぶ。
3. 抄読会に参加し、発表を行う。
4. 地方会における、臨床発表を行う。
地方会（北陸整形外科集談会など）において、症例報告などを行う。